

所属	農学生命科学部	氏名	東 信行
課題名	食糧生産基盤としての里地・里山・里海生態系における生物学的生態系管理		

1. 概要

目的：

- ①食糧生産に被害を及ぼす有害生物や生態系を攪乱する外来生物の駆除や管理を行い、生産基盤の健全性を確保する。
- ②有用生物の生態を明らかにし、自然な増殖を促す技術を確立する。
- ③生産環境における希少生物に関する保全技術を提供する

実施状況：

- ①内水面漁業に被害を与えるカワウ（鳥類）の県内の分布状況や採餌生態について調査研究を行っている。糞のDNAバーコーディング技術を導入した。
- ②りんご樹に被害を与えるハタネズミの生態と捕食者であるフクロウの生態およびりんご園への誘致を行っている
- ③農業水利施設に生息する希少生物の保護・保全を技術的に確立する研究を推進中



図 1

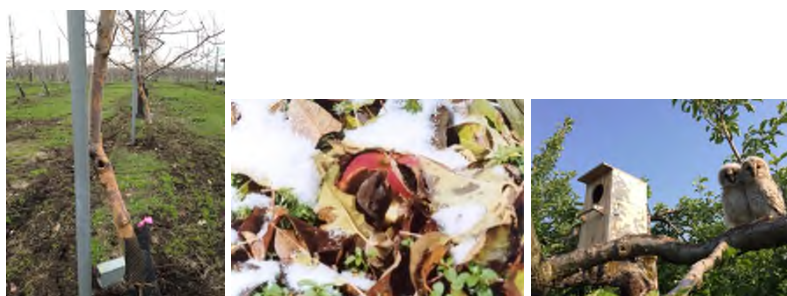


図 2

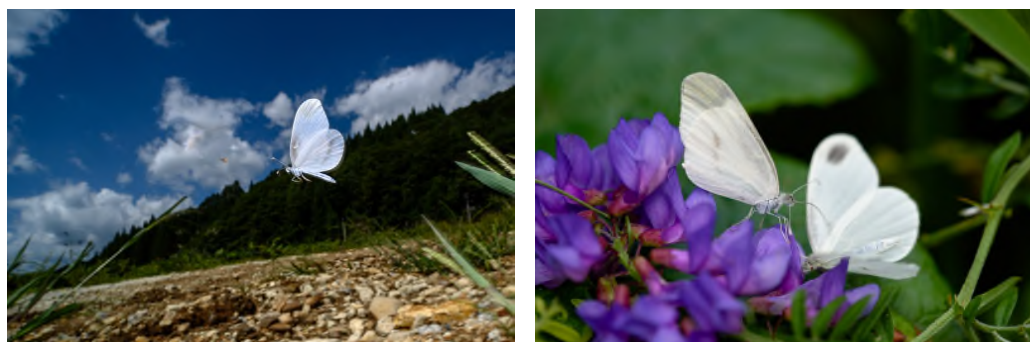


図 3

2. 画像の説明

図 1 カワウとアオサギの混合コロニー

図 2 りんご園のハタネズミとその被害および設置巣箱で生まれたフクロウの雛

図 3 津刈ダム（農業用ダム）堤体跡地の希少種ヒメシロチョウ（絶滅危惧ⅠB類）